

津軽 広域連合 だより

VOL.27 平成20年12月



Hirosaki



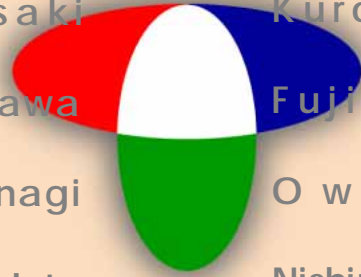
Hirakawa



Itayanagi



Inakadate



Kuroishi



Fujisaki



Owani



Nishimeya



津軽の特産品PR

津軽広域連合では9月20日・21日の2日間、仙台市勾当台公園市民広場で開催された「ハイウェイコミュニケーションin東北2008」(東日本高速道路(株)主催)に弘前市物産協会・やきそばのまち黒石会・平川市物産協会とともに参加し、当圏域の観光情報PRと特産品の販売を行いました。

東北6県の味覚・芸能・観光・工芸が一堂に集結した会場は終始活気にあふれ、ステージイベント時には五所川原立佞武多囃子や秋田なまはげ太鼓などの音が鳴り響く中、当広域連合の関係4団体は、りんご(生食)・りんごジュース・地酒などの物産販売と、黒石やきそば・黒石つゆやきそばの屋台販売などを行い、各団体とも笑顔で来場者と談話しながら、積極的に地元特産品をアピールしました。

津軽広域連合では、津軽地域の地場産業及び地域観光の振興を図ることを目的に、例年このイベントに参加し観光パンフレットの配布などを実施してきており、平成19年度からは『特産品PR事業』(事業期間3年)と位置付けて、関係

市町村観光担当課からの推薦を受けた民間団体等とともに参加し、物産販売を通じた津軽地域のPR活動を実施しています。なお、昨年度は、J A常盤村(藤崎町)まるごと大鰐商人の会(大鰐町)が参加しました。来年度は板柳町、田舎館村、西目屋村の団体が参加する予定です。



弘前市物産協会

「りんご酢が早々に売り切れてしまった。もっと用意すればよかった。」と悔しがっていた同協会の佐々木さん(写真左)



ハイウェイ
コミュニケーション
in 東北
2008

やきそばのまち黒石会

今や全国区の知名度を誇る「黒石やきそば・つゆやきそば」の屋台前は客足が途切れることなく押し寄せ、各県の名物屋台が並ぶ中でも一番人気!

市町村観光担当課からの推薦を受けた民間団体等とともに参加し、物産販売を通じた津軽地域のPR活動を実施しています。なお、昨年度は、J A常盤村(藤崎町)まるごと大鰐商人の会(大鰐町)が参加しました。来年度は板柳町、田舎館村、西目屋村の団体が参加する予定です。



津軽広域連合

りんご酢の無料試飲と観光パンフレットの配布を実施しました。会場に設置した板柳町出身力士『高見盛』のポスターが大人気!!



平川市物産協会

目玉商品は、あのひょうりんごの“ひょう太君”。テントの外に出て来場者へ猛烈アピール。見ためより味で勝負!

議会の動き 第2回津軽広域連合議会定例会

11月18日、平成20年第2回津軽広域連合議会定例会が弘前地区環境整備センターにて開催されました。

会議では、議員提出議案の議会会議規則の一部改正案、並びに、広域連合長提出議案の事件処分の報告、平成20年度一般会計補正予算案、平成19年度一般会計決算、特別職の職員の報酬等に関する条例の一部改正案が審議され、全案件が原案通り可決・認定・承認されました。

補正予算は、本年4月の人事異動などによる職員人件費の減額などにより27万1千円減額し、総額1億8千29万5

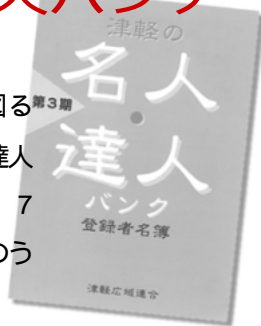


津軽広域連合議会は年一回十一月と一月に定例会を開催しています。

千円とするもので、また、決算は歳入が1億9千454万1千987円、歳出が1億8千674万3千641円で、差引残額779万8千337円は財政調整基金に繰入れしております。

津軽の名人・達人バンク 講師派遣事業

教育現場でのバンク利用の促進を図るために実施している「津軽の名人・達人バンク講師派遣事業」が大好評です。7月から10月までに実施されたものうち2件の派遣状況を紹介します。



名人・達人バンク講師派遣事業とは
圏域内の小・中・高校、幼稚園、保育園、老人介護施設等で行われる授業や校内活動等で同バンクを利用される際、講師派遣にかかる謝礼（材料費等代8千円）、交通費（実費相当分）及び傷害保険料を当広域連合が負担します。詳しくは名簿、広域連合ホームページをご覧ください。または当広域連合までお問い合わせください。



金魚ねぶたづくり 名人達人 54 成田幻節

【月日】7月15日(火)
【場所】平賀幼稚園
【参加者】保護者20名

地元のねぶた運行時に子供たちが持ち歩くための金魚ねぶたを、園児の保護者が作成しました。講師の成田氏からうろこの描き方、色のにじみ防止等の指導を受け、無地の金魚ねぶたに墨入れ、ロウ入れ、色付けを施しました。作業に慣れてくると参加者の中には、自分の子どもの人数分(2~3個)をまとめて制作したり、また、ハート形のうろこ柄を描くなどオリジナルの金魚ねぶたを作成している方も居ました。小山園長は「次は園児と一緒に凧絵に挑戦してみたい。」と話していました。

マジックの実演 名人達人 7 櫛引清美

【月日】10月20日(月)
【場所】鳥井野保育所
【参加者】児童及び保護者26名

櫛引氏は燕尾服姿で舞台に登場するやいなや、すぐさまハンカチを使った手品を披露し、その後「新聞紙の中に消える水」、「どんどん小さくなるトランプ」、「風船からハト出現!」、「箱ごと消えるハト!」などのマジックを次々と繰り出し、そのたびに児童達は驚きと興奮の声をあげ、食い入るように手品を見ていました。マジックは実に本格的な内容で、大人でも十分楽しめるものです。なお、マジック終了後には、櫛引氏へのお礼として年長組の園児による遊戯が披露され、お互いに交流を深めていました。



第1回正副広域連合長会議

11月5日、弘前市役所樋の口分庁舎において、第1回正副広域連合長会議が開催されました。会議では第2回定例会提出案件に加えて、平成21年度一般会計予算編成方針案、津軽地域ふるさと市町村圏計画についてなど6案件が審議され、全て原案どおり承認されました。

平成21年度一般会計予算編成方針案は、介護障害審査係の非常勤嘱託員を1名減とし、また引き続き経常経費5%削減に努める内容などとなっており、予算総額は平成20年度当初予算と比較して214万円(1.19%)減の1億7,842万6千円となっています。なお、同予

算案については来年2月開催の平成21年第1回定例会へ上程することとなります。

要介護認定適正化事業

11月26日、弘前市役所樋の口分庁舎において、要介護認定適正化事業(実施主体:厚生労働省)が実施されました。本事業は、昨年度から全国で実施されているもので、今回、青森県内の介護認定審査会としては初めての実施となりました。

当日は、認定適正化専門員(厚労省職員ほか)3名および県介護担当職員2名が当広域連合を訪問し、実際の審査会の傍聴、審査会委員との意見交換、事務局に対するヒアリング及び適正化に向けた協議など、適切な審査会運営のための指導・助言が行われました。

この事業での指導内容を踏まえ、当広域連合介護認定審査会では、今後も引き続き公平・公正な審査会運営に努めてまいります。



介護認定審査会委員代表者協議会

10月10日、ホテルニューキャッスルにおいて、介護認定審査会会長、会長職務代理者をはじめ、審査分会長など29名が集まり、介護認定審査会委員代表者協議会が開催されました。

会議では、今年度上半期の審査判定状況について事務局から報告したのち、主に要介護認定モデル事業の実施について協議されました。

このモデル事業は、平成21年4月からの新たな介護保険制度の円滑な導入に向け、要介護認定の適正化と効率化を図るために全国的に実施されたものです。この会議における協議を経て当広域連合では、今年10月20日から30日までに開催された審査分会において、およそ100件のモデル案件を新しい一次判定ソフトに基づき審査し、関係市町村を通じて国へ結果を報告しました。

国では、全国から集められた結果をもとに新しい介護認定制度の適正な実施についての検証を行い、一次判定ソフトの根幹となっている「認定調査項目」などの見直しについて細部の調整を行うこととしています。

平成19年度歳入歳出決算 (千円、%)

	科目	決算額	増成比	
歳入	分担金及び負担金	170,520	87.6	
	財産収入	7,325	3.8	
	繰入金	14,819	7.6	
	諸収入	1,501	0.8	
	県支出金	377	0.2	
	計	194,542	100.0	
歳出	目的別	議会費	2,578	1.4
		総務費	57,527	30.8
		民生費	119,314	63.9
		基金積立金	7,325	3.9
		計	186,744	100.0
	性質別	人件費	157,684	84.4
		物件費	18,600	10.0
		補助費等	3,135	1.7
		積立金	7,325	3.9
		計	186,744	100.0

津軽広域連合の財政状況
平成20年9月30日現在

平成20年度歳入歳出予算執行状況 (千円、%)

	科目	予算現額	執行済額	執行率	
歳入	分担金及び負担金	161,630	92,912	57.5	
	財産収入	7,232	0	0.0	
	繰入金	11,686	0	0.0	
	諸収入	18	110	611.1	
	計	180,566	93,022	51.5	
	歳出	目的別	議会費	1,440	18
総務費			58,745	26,917	45.8
民生費			112,633	49,529	44.0
基金積立金			7,232	0	0.0
公債費			66	0	0.0
予備費		450	0	0.0	
計		180,566	76,464	42.3	
性質別		人件費	153,991	69,332	45.0
		物件費	14,428	5,443	37.7
		補助費等	4,399	1,689	38.4
	公債費	66	0	0.0	
	積立金	7,232	0	0.0	
その他	450	0	0.0		
計	180,566	76,464	42.3		

財産の現在高

基金	ふるさと市町村圏基金	958,146千円
	財政調整基金	20,793千円
	計	978,939千円
物品	自動車	1台
	介護認定オンラインシステム	1式
	公共施設予約システム	1式
地方債の現在高		0千円
一時借入金の現在高		0千円

津軽の隠れた名所を巡りました ～ ふるさと探訪バスツアー

8月24日(日) 圏域住民82名の参加により、「ふるさと探訪バスツアー」を実施しました。参加者はA・B2つのコースに分かれ、Aコースは広泰寺、砂川学習館(以上西目屋村)、高照神社(弘前市)、田んぼアート(田舎館村)、金屋地区農家蔵群(平川市)を、Bコースはわにもっこ(大鰐町)、中町こみせ通り(黒石市)、田んぼアート(田舎館村)、常盤ふるさと資料館あすか(藤崎町)、工藤忠閣下生家「皇帝の森」(板柳町)を訪問しました。

各訪問先にまつわる由来や伝説などについてガイドから説明を受けた参加者は、身近にありながらこれまで知る機会の無かった地元津軽の思わぬ魅力に触れ、あらためて郷土への誇りと愛着を深めることとなったようです。昨年度から実施しているこのバスツアーは大好評で、今年度は応募倍率が約4倍となりました。来年度はこれまでのA・Bコースに加え、新たに体験学習コースを設ける予定です。



資料館「皇帝の森」は、満州国侍衛長を務め、あのラストエンペラー溥儀の御用掛であった工藤忠の生家



78棟もの蔵が密集する金屋地区。庭園・生垣と調和した見事な景観を形成しています。



津軽ダム建設に伴い、足踏み脱穀機などの農器具から釜・石うすなどの生活用具まで、昔なつかしの品々が集められた砂川学習館



とっておきの津軽大賞コンテスト



津軽広域連合では、私達の住む「ふるさと津軽」の素晴らしさについて相互に理解を深め、人々に伝えていくことを目的として、「とっておきの津軽大賞コンテスト」を開催いたします。皆さんどしどしご応募ください!

募集ジャンル / 「写真」部門 「川柳」部門

作品テーマ / 「ふるさと再発見!」

地域の自然、祭り、伝統、史跡、日常の風景など、皆さんが人々に伝えたい「ふるさと・津軽」の姿を作品にして応募してください。

応募資格 / 津軽広域連合構成8市町村(弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村)在住の方(年齢・経験等不問)

応募締切 / 平成21年1月16日(金) 当日消印有効

各賞 / 各ジャンルごとに決定します。

「最優秀賞」(各1点、賞状、商品券3万円)

「優秀賞」(各2点、賞状、商品券2万円)

「入選」(各8点、賞状、商品券1万円)

受賞者には副賞として市町村特産品詰合せセットを差し上げます。

応募に係る諸条件・注意事項については、各市町村広報紙(11月発刊号)公共施設やスーパー等へ備え付けのチラシ・ポスター、または津軽広域連合ホームページなどでご確認ください。不明な点がありましたら電話にてお気軽にお問い合わせください。たくさんのご応募お待ちしております。

津軽広域連合は、弘前市・黒石市・平川市・藤崎町・板柳町・大鰐町・田舎館村・西目屋村の8市町村により、介護認定及び障害程度区分判定審査・各種ソフト事業などの様々な事務事業を共同で実施する **特別地方公共団体**で

(問い合わせ) 0172-39-7200
〒036-8276
青森県弘前市大字樋の口町 260 番地 4
詳しくはwebで [津軽広域連合](#) [村実業](#)